

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-181337

(43)Date of publication of application : 29.06.1992

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

G06F 13/00

(21)Application number : 02-309669

(71)Applicant : HOKKAIDO NIPPON DENKI SOFTWARE KK

(22)Date of filing : 15.11.1990

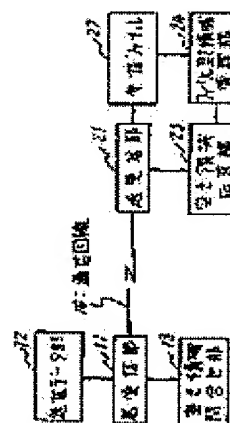
(72)Inventor : MATSUDA YASUHIRO

(54) FILE TRANSFER PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To eliminate the need for exceptional processing which is performed when a receiving file area is exceeded on a reception side by returning the capacity of the receivable file free area on a reception side in response to an inquiry about the file free area from a transmission side and sending only a receivable amount of data on the transmission side.

CONSTITUTION: A transmission-side free area inquiry part 13 inquires the receivable file free area of the reception side before file transfer from a transmission data part 12. A reception-side transmission/reception part 21 once receiving this inquiry sends this inquiry to a free area answer part 23. A file free area control part 14 monitors the free area for a received file 22 at all times and counts its capacity, so a free area correspondence part 23 knows the capacity of the free area from the file free area control part 24 on receiving the inquiry and returns the capacity of the free area to the transmission side through the transmission/reception part 21. Consequently, data are prevented from being sent exceeding the reception-side file area and the need for exceptional processing is eliminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑤ 公開特許公報 (A) 平4-181337

⑥ Int.Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑦ 公開 平成4年(1992)6月29日
G 06 F 12/00 5 0 1 J 8944-5B
13/00 3 5 1 E 7368-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑧ 発明の名称 フォイル転送処理方式

⑨ 特 平2-309659
⑩ 出 平2(1990)11月15日

⑪ 発 松 泰 弘 北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地 北海道日本電気
⑫ 出 北海道日本電気ソフト ソフトウェア株式会社内
⑬ 人 ケア株式会社 北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地
⑭ 代 弁 理 士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称
フォイル転送処理方式

特許請求の範囲

通信回線を利用したフォイル転送処理方式において、送信側から受信側のフォイル空き領域を確保するための空き領域問合せ手段と、この空き領域問合せ手段により問合せを受けた受信側からフォイル空き領域を通知する空き領域応答手段と、受信側での受信用のフォイル空き領域を常時監視し報告できるフォイル空き領域管理手段とを有することを特徴とするフォイル転送処理方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はフォイル転送処理方式、特に情報処理システムにおいて通信回線を利用したフォイル転送処理方式に関する、
(従来の技術)

従来、この種のフォイル転送処理方式は、受信側における受信用のフォイル空き領域の容量に關係なくデータ伝送を行ない、受信側のフォイル領域を超えたデータ伝送が発生した場合に、送信側と受信側とは共にフォイル領域を超えたことによる例外処理を行なっている。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のフォイル転送処理方式は、フォイル領域を超えたデータ送受信が発生した場合に、送信側と受信側とで例外処理を行なうが、処理が煩雑で、かつ多くの処理時間を要するという欠点がある。

(課題を解決するための手段)

本発明のフォイル転送処理方式は、通信回線を利用したフォイル転送処理方式において、送信側から受信側のフォイル空き領域を確保するための空き領域問合せ手段と、この空き領域問合せ手段により問合せを受けた受信側からフォイル空き領域を通知する空き領域応答手段と、受信側での受信用のフォイル空き領域を常時監視し報告できる

フォイル空き領域管理手段とを有することにより構成される。
(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。第1図の發送側は送信側の送受信部11、送信部12および空き領域問合せ部13と受信側の送受信部21、受信部22、空き領域管理部23およびフォイル空き領域管理部24と、送信側の送受信部11と受信側の送受信部21とを結ぶ通信回線10とから構成されている。

以上の構成において、送信側の空き領域問合せ部13は、送信部12からのフォイル転送に先立って、受信側に対して受信可能なフォイルの空き領域の容量を問合せ、受信側の送受信部21はこの問合せを受けると、空き領域管理部23にこの問合せを伝える。フォイル空き領域管理部24は常時受信部22の空き領域を監視してその容量を計数しているもので、空き領域

管理部23は問合せを受けると、フォイル空き領域管理部24から空き領域の容量を知り、送受信部21を介して送信側へ空き領域の容量を返答する。

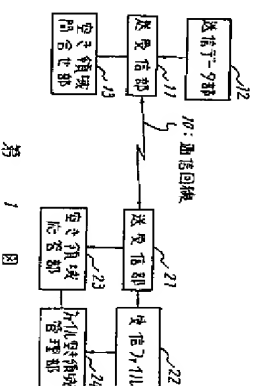
(発明の効果)

以上説明したように本発明は、送信側からのフォイルの空き領域問合せに対して、受信側が受信可能なフォイルの空き領域の容量を送答するので、送信側は受信可能なデータ量のみ送信することにより、受信側での受信フォイル領域を超えた場合の例外処理を不要にするという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図である。
10...通信回線、11、21...送受信部、12...送信部、13...空き領域問合せ部、22...受信部、23...空き領域管理部、24...フォイル空き領域管理部。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図